

畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2019年 3月22日
第21号



ご挨拶

畿央大学後援会 会長
岡崎 亜矢子

皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より後援会活動に対し、深いご理解と暖かなご支援を賜り、誠にありがとうございます。

春色の和やかな季節となりました。日増しに暖かく、新たな門出に相応しい時節の到来を感じています。

ご卒業されるご子息、ご息女を見守り共に育ててこられた保護者の皆様には、心よりお祝い申し上げます。卒業・修了はゴールと同時に、新たなスタートでもあります。人の思いや考え方は日々変化し続けますが、畿央大学で培った建学の精神「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」を常に忘れることなくさらに深く考え、一人ひとりが畿央大学卒業生・修了生としての誇りと自信を持って、これからの新しい人生の一步を踏み出していかれることをお慶び申し上げます。生きていくための知恵と価値観を開拓すべく、愛情や支援を注いでくださったご家族や先生方々は、一生の師ともなり、人生の相談相手にもなってくれます。畿央大学での出会いや学生生活で得た絆を大切に、一人の人間としてさらに大きく成長し活躍されることを期待しています。

また、ご入学されます新入生の皆様、保護者の皆様おめでとうございます。畿央大学は経験豊富な先生方が、一人ひとりの心に寄り添いながら「個」に応じた熱心な指導をしてくださる「学びの環境」が整っています。みなさんの夢を真ん中に、やさしさを「チカラ」に変えるための4年間がここからはじまります。大学生活では心を揺らすような多くの体験をし、深く考えることが将来の夢を実現することにつながります。

後援会では、今後も学生生活の充実のための必要な援助を行い、学生のチャレンジ精神を応援し、畿央大学の発展に貢献していきたいと思っております。これからも、後援会活動に皆様の温かい支援とご協力をお願いいたします。

結びとなりますが、先生方、保護者の皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げます。

CONTENTS

ご挨拶	P 1
健康科学部 理学療法学科	P 3
看護医療学科	P 4
健康栄養学科	P 5
人間環境デザイン学科	P 6
教育学部 現代教育学科	P 7
授業日カレンダー	P 8

ご挨拶

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 学 長
冬木 正彦



後援会の皆様には、畿央大学の教育活動に対し日頃から温かいご理解とご支援をいただき誠に有難うございます。

この春にご卒業されるご子息、ご息女を育ててこられた保護者の皆様には、心よりお祝いを申し上げますと共に、卒業生のみなさんが畿央大学で学んだ専門分野の知識と技術を活かし社会に貢献されることを願っています。将来にわたって貢献できるためには、学び続けることが必要です。その学びにおいては、相手との対話を通してより良い解決策を見だし、相手の心情を理解し共感を得ながら、かつ自主的に判断することが必要です。その過程において畿央大学での学びが役立つことを期待しています。

いま、私どもは社会の急激な変化に直面しています。人工知能(AI)技術の普及もその一例です。職業については、近い将来多くの仕事がAI技術の利用によって置き換えられるという予想が話題になっています。しかし、学習した過去の事例にはない創造的な解決策を見出すこと、情報の意味を理解すること、相手の感情を理解することなど人間でないと出来ないことが多々あることへの理解は拡がっていません。建学の精神、「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」は、畿央大学で学ぶ学生が、そして教職員が共にその理念に共鳴して会得できますが、AI技術では備えることができない能力です。

畿央大学では、一人ひとりの学びを教職員が一体となって支援し、さらに在校生も一緒になり学ぶ環境を整えています。学生のみなさんに一番求められることは、まずは学びの姿勢の転換、受動的から能動的への転換です。この転換によりAI技術では代替できない能力を身につけることができます。

保護者の皆様には、ご子息、ご息女の成長を見守っていただき、学生と教職員が一体となって進めている畿央大学の教育へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年度保護者懇談会・後援会総会を7月6日(土)
午後12時に冬木記念ホールにて開催いたします。
詳細は、5月末にご案内いたします。ご予約いただき
是非ご参加ください。

今年は、
7月6日(土)
です!!



人間力を培う 大学教育

健康科学部長
健康科学研究科長

植田 政嗣

畿央大学後援会の皆様には、常日頃より本学の教育と研究に対し、温かいご理解と多大なご支援をいただいていることに深く感謝申し上げます。

今年も卒業式の時期になりました。日増しに暖くなり、春の訪れが間近に感じられます。卒業生の皆様は、楽しい思い出とともに、苦労したこと、困難にぶつかったことなど、苦しい思い出も数多くあったことと思います。それらを乗り越え、入学した時と比べて、はるかにたくましく、また人間的にも成長した姿に、これからの社会人としての活躍を大いに期待し、精一杯のエールを送りたいと思います。また、ご卒業されるご子息、ご息女を育ててこられた保護者の皆様には、心よりお祝いを申し上げます。

21世紀の世界は、将来の予測が大変難しい、複雑で変化の激しい時代です。特に、人工知能（AI）を中心とするICTの飛躍的な進化が、人間の雇用と働き方に多大な影響を及ぼす段階に至っております。そのような時代にあって、大学での学びをどのようにして仕事や社会に生かしていけばよいのでしょうか。社会状況の急速な変化や技術革新に直面すると、大学で習得した知識や経験が、そのままでは実践できないと感じるかもしれません。しかし、どれほどAIが進歩しても、前例のないアイデアを生み出したり、想像力を働かせて夢の実現を目指すといった、知識の蓄積や論理的分析だけでは決してなし得ない、人間のみが持ち得る独創力や創造力は何物にも代えがたいものがあります。さらに、困っている人や病める人に、躊躇なく手を差し伸べる行為は、理屈では説明できない人間の情念と言えます。大学生活で培った交友関係や実習等を通じて育んだ地域の人々との交流、先生方とのマンツーマンでの学習体験は、人生のどのような場面でも、学び取った知識を社会のために役立てる人間力として発揮され得るものと信じております。

「徳をのぼす」、「知をみがく」、「美をつくる」という本学の建学の精神は、まさにこの人間力の重要性を説いたものであると考えます。正しいものは正しいとはっきり主張し正義を貫くこと、人の幸せや社会に貢献するために自らの知識をフル活用して切磋琢磨すること、研究でも仕事でも自分が感動し、周りを感動させることが、まさに人間の徳をのぼし、知をみがき、美をつくることであると思います。卒業生たちが、畿央大学で培った人間力を十二分に発揮して有意義な人生を送られることを心より祈念しております。

かけがえのない 日々と瞬間

教育学部長
教育学研究科長

前平 泰志



後援会の皆様方には、本学の教育と研究に関しまして、常日頃からご理解とご協力をいただき、深くお礼申し上げます。

大学の一年は、入学式に始まり、卒業式で終わる一年です。日差しが日に日に明るくなっていき、梅や桜の花が咲き誇るこの季節は、若い人たちの始まりと終わりを一緒に祝福してくれているかのようです。若い人の大学の終りとしての卒業は、新しい人生の始まりを意味することでもあります。もちろん、始まりや終わりといっても、学ぶことに終わりはありません。大学を卒業してからも、絶えず学び続ける姿勢を持ち続けてほしいと思います。本学には、有形、無形のリソースが用意されています。学生だけでなく、卒業生の学習にも支援は惜しまないつもりです。そして、これから過ごす人も、過ごした人も本学での4年間で、何ものにも替えられない貴重な青春の時間としていつまでも記憶に残ってほしいと願っています。

私は、本学には他の大学のどこにも負けない、ささやかですが、誇れることが少なくともひとつあるとかねがね思っています。それは、キャンパスの中で学生と出くわしたときに、学生の方から挨拶を交わしてくれることです。小さな大学だからできることと言われてしまえば、それまでなのですが、名前も顔も定かではない学生とすれ違っても、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」という言葉をてらいもなく、当たり前のように言ってくれることのできる若い人を、私は尊敬しています。その日一日心が洗われたような気持ちになるのです。本学の建学の精神の一つ、「美をつくる」はこのような出会いの瞬間のなかにこそ宿っているのだと主張することは、あながち間違いではないような気がします。



■ 建学の精神

徳をのぼす

豊かな人間性、コミュニケーション力と
思いやりの心を身につける

知をみがく

科学的認識に支えられた
知性とたゆまぬ探究心を培う

美をつくる

豊かな感受性をもち
創造する力を磨く

■ 畿央大学の歩み

2003年 4月	畿央大学健康科学部 開学
2006年 4月	教育学部現代教育学科 開設
2007年 4月	大学院健康科学研究科 修士課程 開設
2008年 4月	健康科学部看護医療学科 開設
2009年 4月	大学院健康科学研究科 博士後期課程 開設
2012年 4月	助産学専攻科 開設
2014年 4月	大学院教育学研究科 修士課程 開設
2019年 4月	臨床細胞学別科 開設

メッセージ

健康科学部
理学療法学科
学科長
庄本 康治

保護者の皆さまには日頃より理学療法学科の運営・教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

理学療法学科では、理学療法士国家試験合格を卒業時目標の1つに設定しています



が、この目標を達成するための段階的教育プログラムを実施しています。1回生では教養科目はもちろん、健康な人の構造（解剖学）と機能（生理学）を学修します。この後期では専門的なリハビリテーション医学、内科学、一般臨床医学などの病気に関係した科目も開始しました。2回生では、1回生で学修した知識をベースに、運動に関係した運動学、子どもの発達、小児科学、整形外科学、精神医学、医療画像学などの疾病に関する学問はもちろん、人の関節の動き、筋力、形態などの測定に関する実習を本格的に開始します。大学内での実習科目では、健康な人を対象に正しく測定出来る事が目標となります。2回生後半には、実際の患者さんで色々と測定させて頂く3

日間の病院実習を予定しています。3回生では、整形外科、内科、呼吸・循環器、神経内科疾患等に対する理学療法を学修しますが、特に後期は多くの学内実習を実施します。講義後の3週間の評価実習では、担当患者さんの治療プログラムを立案するために、様々な検査などを指導下で実施します。4回生前期は8週間の実習を2回実施し、後期は卒業研究を11月上旬まで実施しますが、並行して、高名な先生による講義、就職試験、国家試験の受験勉強で忙しくなります。就職活動は実習終了後の8月上旬からが本格的スタートですが、一部の病院では5月頃から求人をする場合もあります。

国家試験への取り組み

理学療法士国家試験の合格率は、平成23年以降低下しています。問題の難度も年々上昇していて、記憶力はもちろんですが、文章を読み解き、思考させる力が要求されています。

本学で、国家試験の準備科目として位置づけている4回生後期の理学療法総合演習では模擬試験を頻回に繰り返します。模擬試験結果から自分の問題点を明確にし、改善策を実行することによって必ず点数が上昇しますが、集中力が欠けたり、時間をかけて取り組みない学生も少数いて、出

来る限り緊張感を維持するような工夫をしています。理学療法総合演習の成績判定は、

図1のように年末、年始、期末試験の3段階で実施しています。また、図2は国家試験の点数と定期試験成績との関係を示して

いますが、図でわかるように、定期試験成績が良い人は国家試験成績が良いことがわかんと思います。4回生時の国家試験対策も重要ですが、やはり、1回生からの日々の予習、復習が重要であるという事を意味していると考えています。

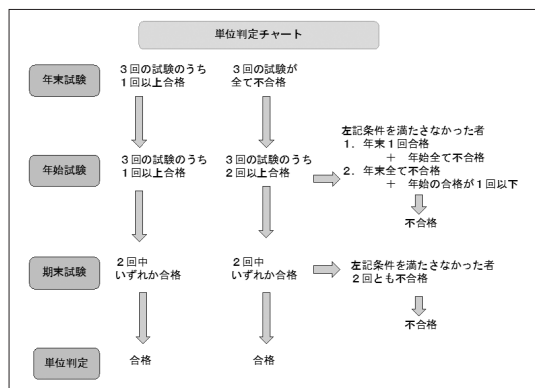


図1 理学療法総合演習 成績判定手続き

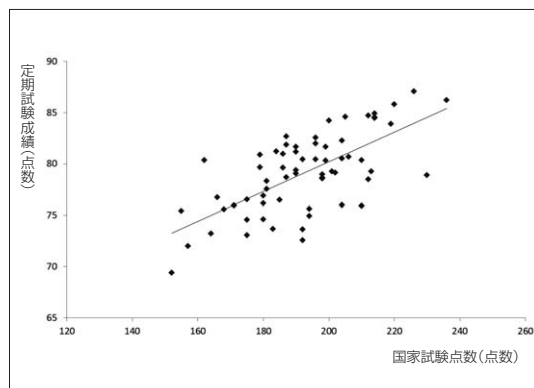


図2 国家試験成績と定期試験成績との関係について

日本理学療法学生協会(JPTSA)畿央大学主催 関西支部大会2018活動報告! ~学生レポート~

12月15日(日)に畿央大学で行われた日本理学療法学生協会 畿央大学主催 関西支部大会について報告させていただきます。今年も全国の大学から理学療法士をめざす学生が畿央大学に足を運んでくれました!

まず「大学生の健康について」という題で学生発表を行いました。この学生発表は畿央生約250人にとったアンケートを元にしています。次に、2名の先生方にご講演をしていただきました。

講演①「産業×理学療法」広島国際大学総合リハビリテーション学部教授 蒲田和芳先生

講演②「本邦における産業理学療法の可能性」治療就労両立支援センター主任・産業理学療法研究会会長 高野賢一郎先生
産業分野に理学療法士がかかわる理論や意義について学びました。

講演の後はディスカッションを行いました。午前中は、理学療法士が病院以外の職場でどのように活躍できるか、またそ

こでの介入方法などについて話し合いました。午後は様々な職場で働いている様子の画像をみて、身体にどのような影響が出るか、改善方法などについて実際に体験し学びました。今回運営委員として初めて支部大会に参加し他大学の新しい友達や先輩と出会い、とても充実した一日となりました。これからも他大学の支部大会に参加し、交流を深めることで将来にわたって情報を共有できる仲間でありたいと強く思いました。来年も畿央大学にて支部大会を開催する予定です。運営委員全員が協力していきたいと思います!

最後になりましたが、協力して下さった方々、参加して下さった皆様、本当にありがとうございました!

理学療法学科1回生K



メッセージ

健康科学部
看護医療学科
学科長
河野 由美



後援会の皆様には、本学の教育にご理解と多大なご協力を賜り、心より御礼申し上げます。看護教育をとりまく環境は大きく変化し続けております。量的な面では看護系の大学数は急速に増加し、平成3年にはわす

か11校であったものが平成30年には263校に及び、今や日本の大学のおよそ3校に1校が看護系の学部・学科を有するようになっております。数多くある大学の中から本学を選んで頂いたことに感謝するとともに、選ばれる大学であり続ける必要性を強く感じております。また、質的な変化に関しましても、高等教育機関として医療の高度化に対応できる、より専門性の高い看護教育へとシフトしてきております。文部科学省は「学士課程においてコアとなる看護実践能力」として「専門職者として研鑽し続ける基本能力」の重要性を指摘しております。看護職は卒業すれば終わりではなく、一生学び続けることが求められます。在学中の4年間で獲得できる知識には限りがあ

りますが、学生自らが考え行動でき、卒業後も学び続けることができる能力の育成が重要と考えております。来年度には本学の付置機関として看護実践研究センターが新たに設立されます。本センターは「卒後教育部門」「国際交流部門」を含め計5部門から構成されます。在学生・卒業生・教員がともに研鑽しあい、地域社会に貢献できるセンターになることを期待しております。

引き続き、建学の精神を礎としながらも、高い専門性と人間性を備えて、研鑽し続けられる専門職の育成を目指し、尽力していきたいと存じます。今後とも引き続き、皆様のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

国家試験・採用試験への取り組み

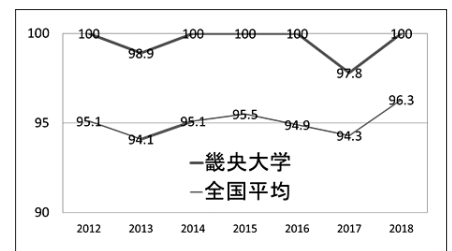
昨年2月に実施されました看護師・保健師・助産師の国家試験合格率ですが、おかげさまで本校はこの3つの国家試験全てに

<看護医療学科1期生～7期生の中で就職者数の多い病院順位>

順位	就 職 先	就職者数
1	奈良県立医科大学附属病院	55
2	大阪府立病院機構 急性期・総合医療センター	35
3	大阪市立総合医療センター	29
4	大阪府立病院機構 大阪母子医療センター	26
5	大阪市立大学医学部附属病院	24
6	市立奈良病院	24
7	平成記念病院	18
8	大阪医科大学附属病院	17
9	大阪大学医学部附属病院	14
	大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター	14

において合格率は100%でした。関西の私立大学において、3つの国家試験全ての合格率が100%であったのは本校を入れて2校のみでした。本学では国家試験学習支援室を設置し、本学独自の国家試験対策学習ツールを用い、e-ラーニングを活用し、学生がしっかりと国家試験勉強ができるシステムづくりを行っております。

さて、就職に関しましては、近年、就職希望者の多い病院では倍率が高くなり、本学の学生でも苦戦する場が出てきました。教員一団となってサポートをしながら、希望を最大限に尊重し、支援しております。また就職に関して本学の学生は看護師だけ



看護師国家試験合格率の本校と全国平均 (新卒)

でなく、行政保健師や産業保健師にも現役採用され、非常に狭き門とされる養護教諭1種の教員採用にも現役合格を果たしております。本当に学生の頑張りには頭が下がります。今後とも引き続き、進路支援部と担当が連携し、学生一人一人の夢が実現できるよう全力でサポートして行きたいと思っております。

認知症啓発の列島リレー「RUN伴」に参加・協力！

10月21日（日）畿央祭2日目、教員4名、学生8名で「RUN伴」（RUN TOMORROW）というイベントに、広陵町介護福祉課の職員の方と町内の高齢者ケア施設（おきな杜、大和園、エリシオン）の職員・利用者・ご家族の方とともに参加しました。

「RUN伴」は、認知症の当事者や家族、地域住民、医療関係者が交流の機会を持ち認知症の啓発と認知症ケアの質の向上を図ることを目的とし、すべてのまちで認知症になっても安心して暮らせるようになることをめざし、認知症の人とともにタスキをつなぐ列島リレーです。



7月に北海道をスタートし、11月頃には沖縄、海外（台湾）にまでタスキをつなぎます。

この日、広陵町においても認知症の方やその家族、サポーター、医療従事者、一般の方が襷をつ

ないでゴールを目指しました。私たち学生は、ランナーのサポートとして自転車と並走を行ったり、ランナーをお迎えしたりしました。畿央大学では、出発式典が行われ広陵町長の山村町長、実行委員長の山崎教授のご挨拶があり、冬木正彦学長も応援に駆けつけてくださいました。今回で3回目となる「RUN伴」には、サポーターの参加者も多く盛り上がりました。今回のイベントを通して、地域や大学、支援者の方々が協力して、当事者やその家族をサポートすることで、認知症の方のもてる力を発揮する場にすることができ、地域連携につながると考えました。「認知症にやさしい町 広陵町、認知症に強い大学 畿央大学」を目指してこれからも認知症に関心をもって看護したいと思いました。



看護医療学科4回生 南部ゼミ

メッセージ

健康科学部
健康栄養学科
学科長

小西 洋太郎

平素は保護者の皆様方から本学・本学科の教育にご支援をいただき、ありがとうございます。2018年は、地震、台風、集中豪雨による災害が多かった年でした。このため授



業スケジュールに影響が出ましたし、恒例の保護者懇談会も中止になってしまいました。災害時の危機管理については、まずは個人が身の安全を守るためにどう行動をとるか家族で話しておく必要があると思います。

さて、2018年の学科の大きなできごとの一つは、厚生労働省近畿厚生局から管理栄養士養成施設・栄養士養成施設に係る調査を初めて受けたことです（10月12日）。指定基準に係る関係法令等の遵守状況を確認し、養成施設の適正な運営が確保できているか否かの審査ですが、本学科は問題なく「基準に達している」と判定されました。このように本学科の管理栄養士養成教育の

質が保障されたのも、日頃の教員と職員との連携のおかげだと思っています。

もう一つは、日本栄養・食糧学会近畿支部大会が本学で初めて開催されたこと（12月8日）。大会会頭の栢野先生のもと、教員と学生が協力して大会運営にあたり、本学の教員・大学院生による発表も含め、食品や栄養に関する55演題が発表されました。大会終了後、食堂「カトレア」で行なわれた意見交換会では、ジャズバンドの演奏もあり、なごやかな雰囲気での人的交流が行なわれました。

今後も引き続き教育と研究のグレードアップに取り組んで参りますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

国家試験への取り組み

今年の管理栄養士国家試験は3月3日（日）に実施され、合格発表は3月29日（金）です。一昨年末までの合格発表日は5月上旬でしたが、昨年から3月中に合否がわかるようになりました。管理栄養士国家試験は出題範囲が大変広く、大学の4年間で学んだ専門科目のほぼすべてにわたる難度の高い試験です。この難関に本学からも多くの学生が挑戦しました。昨年の



新卒、既卒を含んだ管理栄養士国家試験の全国平均合格率は60.8%でした。新卒の全国平均合格率は95.8%となり、その前の年の92.4%から約3ポイント上昇しました。国家試験の合格率は年により変動しますが、本学は、例年、全国平均を上回る優れた合格実績をあげることができています。また、既卒の全国平均合格率は20.8%であり、働きながら合格を目指すことは難しい状況だと考えています。在学中に万全の体制で試験に臨むことが合格への一番の近道になります。

さて、新4回生の国試対策は本格的にスタートを切ったところです。4回生では週4コマの演習形式の授業を開講し、学内の授業に加えて、学外での国家試験対策講座の受講や学外での模擬試験も受験します。学内には自習室を設けて、集中して自己学習ができる環境を整えています。繰り返し模擬試験を受けることで、自身の弱点や実力を確認して学力の向上を図っています。2回生と3回生は日々の授業で国家試験に必要な基礎力を養うとともに、身につけた基礎力を確認する模擬試験を行い、国家試験に対する意識付けとこれまでの学習の振り返りを行っています。



教職員一同、学生の頑張りを支えるよう暖かさや厳しさを兼ね備えた指導を心がけています。

教職員一同、学生の頑張りを支えるよう暖かさや厳しさを兼ね備えた指導を心がけています。

ヘルスチーム菜良×学食コラボ「秋の味覚!モンブランの和パフェ」を販売!

ヘルスチーム菜良*では、今年度も学生食堂とのコラボメニュー作成に取り組んでいます。「秋が旬の食材を使用した、ヘルシーなパフェ」をテーマに、メニュー作成を開始。試作を重ねさつまいもを使用したモンブランの和パフェを販売することに決定しました。当初は多くの意見が出、商品開発の難しさを知ることができました。また、大量調理の観点や栄養価、コスト面など試行錯誤の過程がとても良い経験となりました。

アンケート結果によると、通常は学食を利用していないがこのパフェの購入のために来てくれていたこともわかりました。2日目は昼休み開始10分後には完売してしまうという嬉しい

悲鳴があがりました!!

商品を一から作るのは初めてでしたが、最終的に納得のいくものができ、「美味しかった!」と言ってもらえたことがとても嬉しく、

参加して良かったと思いました。

また、奈良テレビの「ゆうドキッ!」の番組内で紹介していただけました。

学食の調理の方や先生方からの提案やアドバイス、食べていただいた方のアンケートなどから、普段の講義では味わうことのない学びを得ることができました。ご協力いただいた皆様、ご購入いただいた皆様、本当にありがとうございます。

この経験を生かし、将来、管理栄養士として活躍できるよう成長していきたいです。



健康栄養学科3回生Y・I・K

*ヘルスチーム菜良…管理栄養士養成課程を持つ奈良県内4年制大学（畿央大学、近畿大学、帝塚山大学、奈良女子大学）で構成されており、食育啓蒙活動に取り組んでいます。



メッセージ

健康科学部
人間環境デザイン学科
学科長

三井田 康記

平素より、本学の教育にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

卒業研究の講評会も学期末試験も終わり、学生たちは卒業や新学期を待つばかりとな



りました。2月の初めまで、毎日、徹夜も辞さずに、ゼミ室や製図室で卒業研究や卒業制作に励んでいた4年生も姿を見せなくなり、賑やかだった校舎もガランとして急に静かになりました。

今年は例年に比べて、卒業制作や研究への取り掛かりが遅く、期限内に完成するかと教員一同やきもきしていたのですが、何とか期限内に完成させてくれました。

3月9日(土)、10日(日)には、大和高田市のさざんかホールにおいて、卒業研究・作品展を開催しました。ついこの間まで幼いと思っていた学生も4年生になり、もう卒業です。彼らの大学4年間の集大成としての卒業研究や卒業制作をご覧いた

方ならきっと、その成長に驚かれたことと思います。

新学期をむかえると、1年生は3つのコースに分かれ、より専門的な勉強が始まります。授業は演習や実習を多く取り入れ、自分で調べ、考える力を身につけられるようになっています。2年生は「ゼミ」が始まります。少人数に分かれて、自分たちで調べ、考え、答えを求め、発表や制作を行う実践的な授業です。一方、3年生は最終学年となり、いよいよ卒業研究や卒業制作が始まります。きっと、われわれ教員の期待以上の頑張りや積極性を見せてくれると期待が膨らみます。

ランドスケープ ～歯ブラシ工場外構計画～

昨年の6月、奈良県田原本町にある株式会社ナベ様から新社屋の外構計画についてご相談を受けました。昨年7月に新社屋の落成式を終えられたのですが、植栽や外構部分が未完成の状態でしたので、地域住



民の方々も気軽に利用できる『地域に開かれた広場』をぜひ学生たちにデザインしていただきたいとのことでした。

早速、現地調査を行い周辺環境や近隣住民の様子を把握した上で、講評会に向けてプランを考えはじめました。

そして2月4日(月)、社長もお招きし全23点の講評会を行いました。

新社屋の周辺には緑が少なく、周辺住民が集える場所がなかったため、学生たちの提案にはたくさんの木々と気軽に腰かけられる場所、楽しいイベントが行える広場など、様々な提案がありました。

全23点の中から最優秀賞と優秀賞を選ん



でいただき、選ばれた学生にはバレンタイン限定の歯ブラシやレインボー歯ブラシなどが贈呈されました。また、今回提案させていただいた中から実現するものもあるとのこと、学生たちもとても喜んでいる様子でした。

企業様と連携し発表する機会はあまりないので、とても良い経験をさせていただくことができました。

最も特徴のある授業 プロジェクトゼミ

人間環境デザイン学科の中で最も特徴のある授業の1つに「プロジェクトゼミ」があります。この授業では、2・3回生が合同になっているため学年をこえて学生たちが縦横に繋がることができます。授業内では、先輩が作業している様子を後輩が直に見てスキルを学び新たな発見をすることもありますし、先輩は後輩の指導に悩むという場面もあります。一方的になりがちな普通の授業では得られない学びがあります。

プロジェクトゼミはそれぞれの教員の研究分野に沿って自



由な内容となっています。私のゼミでは教室の中だけにとどまらず社会にかかわってほしいという願いから、地域貢献に積極的に取り組んでいます。学生たちがまず始めに

するプロジェクトは「バーンデザイン」と呼んでいます。これは近鉄関屋駅近くの農家小屋をペイントする「環境アート」です。このあたりは調整区域になっていて農業が促進されるエリアになります。しかし、最

近は農家を継ぐ後継者が不足するという深刻な問題を抱えており、我々は農家を応援するという目的でここ3年続けております。アートされた農家小屋は近鉄電車内からよく見える場所にありますので、関屋駅を通過する際は外をみて見つけて下さい。秋からはエコマミ・デザイン提案が始まります。大学に隣接する大型商業施設エコー・マミ様にご協力いただき、11年もの長い間続けさせていただいております。提案はさまざまですが、中でも大きな吹き抜けのあるセントラルコートでバレンタインの飾り付けをするのは大仕事になります。学生が主体となって取り組んでいる姿に成長を感じております。



メッセージ

教育学部
現代教育学科
学科長

安井 義和

後援会の皆様には現代教育学科の教育研究活動に、常日頃あたたかなご支援・ご理解を賜りましてありがとうございます。



教育学部もこの春でちょうど10回目の卒業生を世に送り出すことができました。“10年”の実績は大きな礎となりました。これは卒業生のご努力で築けたものであると思います。同時に畿央大カラーも一般社会で出来つつあるのではないのでしょうか。

将来の少子化による初等教育職の需要も減少することが容易に想定できますが、その時に備えて大学挙げての対応策も考えています。しかし、需要が少なくなっても畿央大学の卒業生は力を持っている、人間的にも優れているとの評価が大きく影響すると思います。小学校には英語科も科目として導入されていますが、現代教育学科は数

年前から関連科目を設けています。また、今春から「学校の安全」を目指す教職必修科目をとり入れることが政策決定されましたが、この関連内容も本学科では前から実践的に取り入れています。

今後も様々な内容が時代とともに取り入れられるでしょうが、教職員一同が力を合わせて先取りしていきたいと思っています。そのためには今まで同様に保護者の皆様のご支援とご理解を賜ってこそ実現できることですので、今後も引き続きご支援よろしくをお願いいたします。

教採10年目。高い合格率を持続！

いよいよ10期生が卒業です。10年という節目に当たり、今年も高い合格率を維持してくれました。公立小学校教諭が49名（合格率64.5%）、中高英語教諭が1名（50.0%）、特別支援学校教諭が5名（83.3%）、養護教諭が2名（12.5%）、公立保育所・幼稚園教諭が31名（96.9%）の合格と、多くが昨年度の合格率を上回る健闘でした。学生の頑張りと大学としての10年間の実績の積み上げです。

卒業前の学生の声です。

教員採用試験は、多くの人に助けられて合格できました。教採・公務員対策室の先生には、対策講座から面接練習ととてもお世話になりました。模擬授業では学部先生からヒントをいただき自分なりに個性を出して授業できました。そして同じ夢に向かう友達。

くじけそうなきも友達がいたから頑張れました。戻りたくはないですが、楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

私は、養護教諭として様々な特性を持つ子どもたちと関わる上で特別支援教育や心理の勉強も大切であると考え、特別支援学校教諭を目指す人たちと特別支援教育の勉強をし、認定心理士の資格の取得にも取り組んできました。その中で、小学校教諭や特別支援学校教諭を目指す人たちとの交流や勉強は、違った視点で理解を深める機会となりました。この経験を現場に出た時に役に立たせます。

写真は、毎年行っている就職前指導「ブ

レティーチャーズ・ガイダンス」の一コマです。教室や保育室の掲示物の作成や板書について、演習も交え、楽しく、そして真剣に取り組んでいます。



「幼児教育実践論」

平素は本学の教育振興にご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

本学では保育士資格および幼稚園教諭一種免許状の取得を希望する学生には、実習に行くまでに、幼児教育実践論、実習指導を段階的に学修し、実習に臨む姿勢・知識・技術を身に付けることが出来るよう教育カリキュラムを工夫しております。



模擬保育の様子

幼児教育は保育実践や幼児理解から知ることが多くあります。大学での学修に加えて、保育所・認定こども園・幼稚園での保育実践に参加することで、体験的に子どもを理解し、

使命感を自覚し、意欲が高まると考えています。そこ

で、幼児教育実践論では、保育所または幼稚園、こども園にて1日現場体験を行う事を義務付けております。

保育現場体験することで保育・教育の一日の流れを理解し、子どもの観察や関わりを通して子どもの実際の姿を知り、保育者の姿から学ぶことも多くあるでしょう。その前に、授業内では学生一人一人が必ず模擬保育を行うため指導案を書き保育者役をおこないます。

後期試験終了後、学生は順次保育現場体験を行います。初めてのことにいろいろと戸惑っていると思われます。今後の学修の励みとなるため、是非ご家庭でも応援していただきご理解とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い致します。



直前オリエンテーションの様子

授業日カレンダー

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は授業曜日ごとの授業週数を表わしています。⑯⑰週は最終授業期間は、定期試験、平常授業、補講が組まれます。ふだんの時間割と異なることもありますので、この期間の時間割は、前期は7月中旬、後期は1月中旬までに掲示します。
注：補講はふだんの授業曜日・時間に関わりなく6時限目や土曜日、祝日などに実施される場合があります。
注：休業日（日曜日・授業のない祝日）の事務取扱は行っておりません。
注：※印のついた日はキャンパスに入ることできません。■は休講日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1月 入学式	1水 国民の祝日	1土 ⑦専攻科入試	1月 ⑪	1木 ⑮	1日	1火 ②履修登録変更メチ	1金 ⑤	1日	1水 元日 ※	1土 ⑮	1日
2火 入学式	2木 国民の休日	2日	2火 ⑪	2金 ⑮	2月 ②前期成績・後期学納金振込票発送予定	2土 ②	2土 ⑥	2月 ⑨	2木 ※	2日 ⑮大学院入試	2月
3水	3金 憲法記念日	3月 ⑦	3水 ⑫	3土 ⑮	3火	3木 ②	3日 ③新設・社会人（文化の日）※	3火 ⑨	3金 ※	3月 ⑮	3火
4木	4土 みどりの日	4火 ⑦	4木 ⑫	4日 ⑮	4水	4金 ②	4月 ④振替休日	4水 ⑩	4土	4火 ⑮	4水
5金	5日 こどもの日	5水 ⑧	5金 ⑫	5月 ⑮	5木	5土 ③	5火 ⑥	5木 補講日	5日	5水 ⑮	5木
6土	6月 振替休日	6木 ⑧	6土 ⑫	6火 ⑮	6金	6日	6水 ⑦履修登録取消期間	6金 ⑩	6月 ⑬	6土 ⑮	6金
7日	7火 ④	7金 ⑧	7日	7水 ⑮	7土	7月 ③	7木 ⑦	7土 ⑩	7火 ⑬	7金 ⑮	7土
8月	8水 ④	8土 ⑧	8月 ⑫	8木 ⑮	8日	8火 ③	8金 ⑥	8日	8水 ⑬	8土 ⑮	8日
9火	9木 ④	9日	9火 ⑫	9金	9月	9水 ③	9土 ⑥	9月 ⑩	9木 ⑬	9日	9月
10水 ①授業開始	10金 ④	10月 ⑧	10水 ⑬	10土	10火	10木 ③	10日 ⑥	10火 ⑩	10金 ⑬	10月	10火 一般入試
11木 ①	11土 ④	11火 ⑧	11木 ⑬	11日 ⑮	11水	11金 ③	11月 ⑥	11土 ⑩	11土 ⑬	11火 ⑮	11水
12金 ①	12日	12水 ⑨	12金 ⑬	12月 ⑮	12火	12土 ④	12火 ⑦	12木 ⑩	12日	12水 ⑮	12火 卒業式リハーサル
13土 ①	13月 ④	13木 ⑨	13土 ⑬	13火	13金	13土 ④	13火 ⑦	13木 ⑩	13月 ⑬	13土 ⑮	13金 卒業式
14日	14火 ⑤	14金 ⑨	14日	14水	14土	14月 ④	14火 ⑦	14木 ⑩	14火 ⑬	14金	14土
15月 ①	15水 ⑤	15土 ⑨	15月 ⑬	15木	15火	15土 ④	15金 ⑦	15日	15水 ⑬	15土	15日
16火 ①	16木 ⑤	16日	16火 ⑬	16金	16月	16土 ④	16金 ⑦	16日 ⑩	16水 ⑬	16土	16月
17水 ②履修登録変更メチ	17金 ⑤	17月 ⑨	17水 補講日	17土	17火	17木 ④	17日 ⑦	17火 ⑩	17金 ⑬	17月	17火
18木 ②	18土 ⑤	18火 ⑨	18木 補講日	18日	18水	18金 ④	18土 ⑦	18火 ⑩	18月 ⑬	18土	18火
19金 ②前期学納金納入期日	19日	19水 ⑩	19金 ⑬	19月	19火	19土 ④	19金 ⑦	19日 ⑩	19水 ⑬	19土	19火
20土 ②	20月 ⑤	20木 ⑩	20土 ⑬	20火	20金	20土 ④	20金 ⑦	20日 ⑩	20水 ⑬	20土	20金 春分の日
21日	21火 補講日（創立記念日）	21金 ⑩	21日	21水	21土	21月 ④	21火 ⑦	21木 ⑩	21火 ⑬	21金	21土
22月 ②	22水 ⑥	22土 ⑩	22月 ⑬	22木	22火	22土 ④	22金 ⑦	22日 ⑩	22水 ⑬	22土	22日
23火 ②	23木 ⑥	23日	23火 ⑬	23金	23月	23土 ④	23金 ⑦	23日 ⑩	23水 ⑬	23土	23火
24水 ③	24金 ⑥	24月 ⑩	24水 ⑬	24土	24火	24土 ④	24金 ⑦	24日 ⑩	24水 ⑬	24土	24火
25木 ③	25土 ⑥	25火 ⑩	25木 ⑬	25日	25水	25土 ④	25金 ⑦	25日 ⑩	25水 ⑬	25土	25火
26金 ③	26日	26水 ⑩	26金 ⑬	26月	26火	26土 ④	26金 ⑦	26日 ⑩	26水 ⑬	26土	26金
27土 ③	27月 ⑥	27木 ⑩	27土 ⑬	27火	27金	27土 ④	27金 ⑦	27日 ⑩	27水 ⑬	27土	27金
28日	28火 ⑥	28金 ⑩	28日	28水	28土	28月 ④	28火 ⑦	28木 ⑩	28火 ⑬	28金	28土
29月 ③	29水 ⑦	29土 ⑩	29月 ⑬	29木	29火	29土 ④	29金 ⑦	29日 ⑩	29水 ⑬	29土	29火
30火 ③	30木 ⑦	30日	30火 ⑬	30金	30月	30土 ④	30金 ⑦	30日 ⑩	30水 ⑬	30土	30火
	31金 ⑦		31水 ⑬	31土		31月 ④	31火 ⑦	31日 ⑩	31水 ⑬		31火

後援会事業について

後援会では、家計急変奨学金と学生チャレンジ事業を実施し、畿央大学生を経済的にサポートしています。

家計急変奨学金は、家計の急変により授業料等の納付が困難となった学生に奨学金を支給することにより、修学の継続を支援することを目的とします。学費を負担している父母または保証人が在学中にお亡くなりになられた場合、もしくは重度後遺障害を生じた場合、申請により30万円を支給します。

学生チャレンジ事業は、積極性や自主性を有した社会に貢献できる人材を育成するため、学生自らが企画立案する新たな目標に向けた活動に対して支援することを目的とします。事業は、文化・学術活動や地域貢献・ボランティア、国際交流・海外留学、起業・地域活性化など本事業の趣旨に合う目標を設定した活動とします。学生チャレンジ事業は2019年4月15日から募集を開始し、書類選考とプレゼンテーションにより審査を行い、採用されれば必要な諸費用の一部について最大10万円を上限として支給します。事業の活動期間は2019年11月30日までに完了することとしています。

畿央大学建学の精神「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」に則した事業で、畿央生らしい活動が申請されることを期待しています。

●大学の最新情報は、公式SNSで！



facebook
「畿央大学／Kio University」



twitter
「畿央大学@KIO_University」



YouTube
「Kio University」



LINE
「畿央大学」

冬木学園へのご支援のお願い

冬木学園では、教育・研究環境の整備及び基金の充実を目的とする募金へのご協力を広く皆様方にお願いをしております。

本学園の取り組みをご理解いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◎ 税額控除の適用について

本学園は、寄付税額控除制度の適用を受けることのできる学校法人として文部科学大臣より証明されています。個人の方が支出した寄付金について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下により算出された額が所得税額から控除されます。

$$(\text{税額控除対象寄付金}^{※1}) - 2,000\text{円}) \times 40\% \\ = \text{控除対象額}^{※2}$$

- ※1 総所得額の40%まで
- ※2 所得税額の25%まで

◎ 寄付のお申込方法

法人事務局総務部(担当：植村・山田)にお問い合わせ下さい。

TEL：0745-54-1602

E-mail：soumu@kio.ac.jp